

ユーザー視点で製品開発を行うための課題発見手法を修得 【演習付】

ヒット商品開発企画のためのユーザビリティ向上と評価法の基礎

日時
2018年 5月18日 (金)
10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

遠方からもご参加しやすいよう開始を10:30に設定しております。

「商品やサービスなどのモノづくりに、ユーザー（人間）中心設計が重要なのはなぜ？」 「ユーザー中心設計が重要なのはわかるけれど、どのように進めていいのかわからない」などで、お困りではありませんか？

本セミナーでは、ユーザー中心設計とユーザビリティの考え方のほか、ユーザビリティ向上のための課題発見手法をメインテーマとして、基本的なユーザビリティ評価の計画から分析までの流れとポイント解説と、ユーザビリティ評価時にまちがいがやすい事象を、演習で体験いただきます。これからユーザビリティに取り組まれる方や、ユーザビリティ評価を自己流で実施し悩んでおられる方におすすめです。事前のご質問もお受けしています。

プログラム 受講に当たっての必要な予備知識：とくに必要ありません

講師 パナソニック株式会社 プロダクト解析センター
ユーザビリティソリューション部 東 章子 氏

- ・ユーザー中心設計とユーザビリティ
 1. 使いにくさはなぜ起きる？
 2. ユーザー中心設計におけるユーザビリティの位置づけ
- ・ユーザーニーズを引き出すユーザビリティ評価・調査の基本
 1. ユーザビリティ評価・調査手法と特長
 2. ユーザビリティテストの基本的な流れとポイント
 3. 分析のポイント
- ・演習
 1. ユーザー属性の条件設定
 2. ユーザーの操作行動の把握（思考発話法・観察記録）
- ・事例紹介
 - ユーザー中心設計の実践による商品化事例
 - ユーザビリティ評価の応用 わかりやすさの可視化・定量化事例

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問について解説致します】

内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承ください。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ヒット商品開発企画のためのユーザビリティ向上と評価法の基礎

セミナーコード

1101-180518

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。

2018/5/18 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課（正式名称）	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				